



平成21年4月17日

各位

会社名 パナホーム株式会社
代表者名 取締役社長 上田 勉
(コード番号 1924 東証・大証第1部)
お問合せ先 経理担当執行役員 北川 賀津雄
TEL (06) 6834-5111 (代表)

当社の親会社 パナソニック株式会社
代表者名 取締役社長 大坪 文雄
(コード番号 6752 東証・大証・名証第1部)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成20年4月25日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成21年3月期において特別損失を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

1. 業績予想の修正

(1) 平成21年3月期通期連結業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| 【連結】 | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 前回発表予想(A) (平成20年4月25日発表) | 300,000 | 10,500 | 11,300 | 5,700 |
| 今回修正予想(B) | 284,600 | 9,500 | 9,600 | 2,900 |
| 増減額(B-A) | △15,400 | △1,000 | △1,700 | △2,800 |
| 増減率 | △5.1% | △9.5% | △15.0% | △49.1% |
| 前期(平成20年3月期)通期実績 | 293,616 | 8,757 | 9,402 | △606 |

(2) 業績予想修正の理由

9月以降の当社を取り巻く経営環境は、住宅市況の急激な悪化や株式市場の低迷による逆資産効果などで、住宅に対する投資意欲が著しく低下するなど、大変厳しい状況が続きました。このような環境下、第3四半期以降の受注悪化などにより、売上高、営業利益、経常利益はともに、当初予想を下回る見込みです。また、当期純利益につきましては、上記に加え、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、その一部の取り崩しを実施すること等により、29億円となる見込みです。

2. 特別損失の内容

展示場の削減への取り組みに伴う損失として、平成21年3月期に約6億円を特別損失として計上する予定であり、今回の業績修正予想に織り込んでおります。

以上

(注) 本資料の業績予想数値は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社を取り巻く経済情勢・需要動向等の変化、金融情勢の変化、地価の大幅な変動等があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。